

プログラムの活動成果を英語による劇を通して表現する高校生たち=20日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター



環境問題、沖縄で学んだ

アジア13カ国と県内外の高校生54人が参加した「アジアユース人材育成プログラム2013」(県主催)の閉会式が20日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた。高校生らは2～20日の19日間、県内で環境問題や沖縄の歴史・文化などについて学んだ。(27面に関連)

生徒たちはプログラムの成果を報告。太陽光発電の最適な利用法や石油燃料への依存を減らす方法などについて

アジア13カ国の高校生 研修終え報告会

英語で発表した。平和な世界が実現する様子を描いた劇も上演した。高良倉吉副知事は生徒全員に修了証書を手渡した。マレーシアから参加したアルフォンソ・アロイスウス君(15)は「良い思い出になった。機会があればまた沖縄に来たい」とにっこり。県内から参加した知念くららさん(16)は「那覇国際高1年」は「参加者一人一人の個性が発揮できたプログラムだった」と振り返った。

